科目名(英訳)	プログラミング入門I(Introduction to Computer Programing I)　(FED-10912J1)				
担当教員	升井洋志, 岩館健司	対象学年	学部1年次	単位数	1単位
科目区分	演習 必修	受講人数	120名	開講時期	後期
キーワード	数理データサイエンス、プログラミング、Python、反転学習				
授業の概要・達成目標	[授業の概要] 数理データサイエンスに必要なスキルとしてPythonを用いたプログラミングを行う。Web教材による反転学習形式を取ることで限られた講義時間内での学習効果を向上させる。 [授業の到達目標及びテーマ] Pythonで以下のプログラミングが可能となることを到達目標とする 基本的なプログラミング形式、変数の取り扱い、組み込み関数、メソッドの利用、比較演算・ブール演算、条件分岐、リスト、ループ				
授業内容	第1回:数理データサイエンスガイダンス:講義の進め方、反転学習の意義、ユーザ環境の整備 第2回: Pythonコードの書き方 第3回: データ型 第4回: 変数 第5回: 組み込み関数 第6回: メソッド 第7回:まとめ(2-6)と解説・発展I 第8回:比較演算とブール演算 第9回:条件分岐 第10回: リスト 第11回: まとめ(8-10)と解説・発展II 第12回: ループその1 第13回: ループその2 第14回: まとめ(12-13)と解説・発展III 第15回 :自由課題				
授業形式・形態及び授業方法	演習形態の講義のため、毎回の出席を前提とする。				
教材・教科書	特になし				
参考文献	特になし				
成績評価方法及び評価基準	演習項目毎に設定されている課題と年度末の自由課題により成績を評価。100点を満点とし、60点以上で合格とする。				
必要な授業外学修	PC等の端末の基本的な操作とPython言語への理解を進める				
履修上の注意	特になし				
関連科目(発展科目)	数理データサイエンス概論, プログラミング入門II			実務家教員担当	×
その他 学習・教育目標との関連	本科目は「1-A : 数学、自然科学、工学基礎、情報技術等に関する基本的知識とそれを応用する能力を有する」に関連する。				
その他 連絡先・ｵﾌｨｽｱﾜｰ	升井洋志（情報処理センター、0157-26-9587, hgmasui@mail.kitami-it.ac.jp） オフィスアワー: 随時（事前にメール等で連絡してください）				
その他 コメント	特になし				